

**3年ぶりに先進農業研修を実施しました。
～農業科3年生4名が参加～**

7月25日（月）～8月9日（火）にかけて、農業科3年生の4名が参加して、3年ぶりに先進農業研修を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策として、生徒は、毎朝、自宅で抗原検査キットにより陰性を確認してから、研修先に通い、合計8日間の研修をしました。

受入農家の山口正重様は、メロンやトマトの接ぎ木苗、イチゴ苗などの苗生産を中心に経営されています。研修では、海東大地君と若林賢大君が、イチゴの親株からのランナーを切り、葉掻き作業などをして、イチゴ苗の出荷調整に取り組みました。

また、小沼藤雄様は、「もぐら植え」という方法で4月上旬に苗を植え付けて、7月20日頃から出荷するサツマイモの早掘り栽培を中心に経営されています。研修では、木村礼生君と生田目尊琉君が、サツマイモの選別や出荷箱の組み立て作業などに取り組みました。

参加した4名の生徒は、先進農業に取り組む地域の生産者から農業を直接学ぶことで、高校卒業後の進路を考える貴重な機会となりました。

受入式の様子（鉾田二高） 7/25



受入式の様子（鉾田二高） 7/25



イチゴ苗の出荷調整（山口様） 7/28



出荷箱の組み立て作業（小沼様） 8/5



終了式の様子（山口様） 8/9



終了式の様子（小沼様） 8/9

